

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子・やさしいほい かしい子・かいはい たくましい子・やる気いっぱい～



# 和土小だより

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1 353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ：<https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール：wado-e@saitama-city.ed.jp

さいたま市立和土小学校

令和8年5月29日(金)

6月号

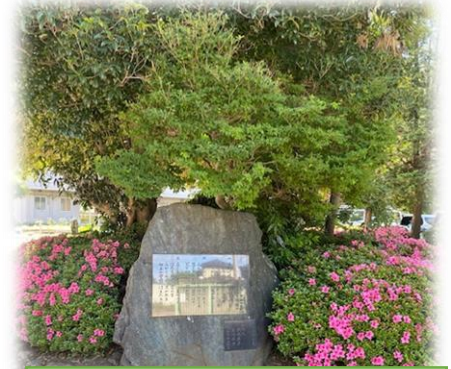
児童数 139名

## 歌で、心晴れやかに

校長 中野尾 奈都江

梅雨の季節が近づき、和土小の中庭の花や野菜は、雨を待っているようです。中庭では、サツマイモの苗がぐんぐんと背を伸ばし、緑の葉を揺らしています。1・2年生は、自分の植木鉢にペットボトルで水やりをして、一人一鉢の植物を可愛がって育てています。

先日は、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様のご声援に見守られながら、無事に運動会を開催することができました。「一人ひとりが主役 和土っ子パワーで記憶に残る運動会にしよう」をテーマに、赤組も白組も力いっぱい競技や表現をしていました。子ども達は、全力で校庭を走り、力を合わせ、大きな声で応援していました。校庭の真ん中で、元気な声と大きな身振りで応援を



正門入ってすぐの校歌の石碑

続けた応援団、頑張っていました。4・5・6年生は、係の仕事を一生懸命にやり遂げました。閉会式では「力いっぱいがんばろう！」という「ゴーゴーゴー」の歌、閉会式では「校歌」をみんなで歌いました。「校歌」2番「おさない清い思い出を みんながだれも もつところ」(作詞 下山つとむ 作曲 下総 皖一)のとおり、運動会の思い出は子ども達の記憶に残ったことと思います。

和土小の「校歌」は、明治35年3月に制定されました。正門入ってすぐのロータリーの中央には、校歌が彫られた石碑があります。この石碑は地域の方が和土小に寄贈してくださいました。本日5月29日は和土小の開校記念日です。「開校記念日献立」(小松菜のビスキュイパン、鶏肉のフレッシュトマト煮、ミックスサラダ)は、和土小学区で栽培された農産物をたくさん使った献立です。「子ども達を大切に」という地域の方のあたたかい思いや願いが、献立の地元野菜、中庭の藤棚や池、「校歌」からも感じられます。

歌は心を明るくしてくれたり、勇気をくれたりします。歌を一人で歌うのも楽しいですが、友達と一緒に歌ったらもっと楽しいです。6月の「今月の歌」は「にじ」(作詞 新沢としひこ 作曲 中川 ひろたか)です。梅雨の雨降りの日の沈みがちな気持ちから、雲がなくなって虹が出てみんなが元気になる、という歌です。「雨はずっと降り続くわけではなく、いつかは晴れる。嫌なことや、辛いことがあってもいつかは晴れる。」そんな思いが込められていることを、音楽の授業や朝の会で子ども達に指導しています。子ども達の心に、晴れやかな虹がかかるように、元気に歌っていきたいです。

さて、4・5・6年生のクラスの代表児童が活動する代表委員会では、今年度の児童会スローガンについて話し合いました。学校教育目標「やさしい子・かしい子・たくましい子」に基づいて真剣に話し合い、『みんな笑顔で 一人ひとりが輝ける よりよい和土小学校をつくろう』に決まりました。さいたま市では、6月を「いじめ撲滅強化月間」と位置付けています。代表委員会では、この後、「いじめ撲滅の校内の取組」について、新和小・城南中と一緒に会議をして、3校で連携して取り組んでいきます。

季節は梅雨、雨や蒸し暑さがあっても、みんなで「にじ」を一緒に歌って、元気っ子タイムで学年関係なく遊び、みんな笑顔の6月になるといいなと思っています。